

資料1 実験野帳

実験実施日: 2004/11/10 ポンプ始動日時: 2004/11/10 8:40 原槇·古賀 ポンプ停止日時: 2004/11/10 16:52 記入者: 実験case: 3-3 水路勾配(目標): 1 / 200 土砂供給時間(1回目): 9:03 1 袋】 【トータルステーションによる計測】土砂供給時間(2回目): 2/3 袋】 水路勾配(実測): 3.6 / 1000 11:41 LOW 袋】 濁度(目標): 土砂供給時間(3回目):

サンプラー上流側水深:20.0 (cm)サンプラー採取開始日時:2004/11/10 13:50サンプラー下流側水深:- (cm)サンプラー採取終了日時:2004/11/10 16:50

### ピトー管 計測水深

計測日時	静圧管水位(cm)	動圧管水位(cm)	
2004/11/10 13:52	69.0	72.5	
2004/11/10 14:20	69.0	72.7	
2004/11/10 14:50	69.1	72.5	
2004/11/10 15:20	69.2	72.7	注)
2004/11/10 15:50	69.3	72.8	水位は0.1cm単
2004/11/10 16:20	69.3	72.8	計測中ビデオ(ロ
2004/11/10 16:50	-	-	時刻は濁度計の

水位は0.1cm単位で記載する。

計測中ビデオ(DVD)で水位を撮影する。

2004/11/11 8:49

# 浮遊砂サンプラー機能検証実験 実験野帳

ポンプ始動日時:

 記入者:
 原植・水野
 ポンプ停止日時:
 2004/11/11 14:49

 実験case:
 3-2

 水路勾配(目標):
 1 / 100
 土砂供給時間(1回目):
 9:17 【 1/3 袋】

 水路勾配(実測):
 9.8 / 1000
 【トータルステーションによる計測】土砂供給時間(2回目):
 (2 (公本)

 濁度(目標):
 LOW

 土砂供給時間(3回目):
 【 袋】

サンプラー上流側水深: 21.0 (cm) サンプラー採取開始日時: 2004/11/11 11:45 サンプラー下流側水深: 14.0 (cm) サンプラー採取終了日時: 2004/11/11 14:45

### ピトー管 計測水深

実験実施日:

2004/11/11

計測日時	静止管水位(cm)	動圧管水位(cm)	
2004/11/11 11:45	69.9	73.6	
2004/11/11 12:24	69.8	73.7	
2004/11/11 12:58	69.8	73.7	
2004/11/12 13:17	69.4	73.0	注)
2004/11/11 13:49	69.6	73.3	水位は0.1cm単位で記載する。
2004/11/11 14:15	69.8	73.6	計測中ビデオ(DVD)で水位を撮影する。
2004/11/11 14:47	69.6	73.4	時刻は濁度計の時刻を記入する。
			-

2004/11/12 9:10

# 浮遊砂サンプラー機能検証実験 実験野帳

ポンプ始動日時:

 記入者:
 原槇·水野
 ポンプ停止日時:
 2004/11/12 17:01

 実験case:
 3-1

 水路勾配(目標):
 1 / 50
 水供給時間(1回目):
 1:18~11:40【貯水槽満水】

 水路勾配(実測):
 1 / 52.5
 【トータルステーションによる計測】水供給時間(2回目):
 13:14~13:35【オーバーフロー】

濁度計計測ファイル名: 平成17年02月17日 case3-1.xls 水供給時間(5回目): 【

サンプラー上流側水深:18.5 (cm)サンプラー採取開始日時:2004/11/12 14:00サンプラー下流側水深:13.0 (cm)サンプラー採取終了日時:2004/11/12 17:00

### ピトー管 計測水深

実験実施日:

2004/11/12

計測日時	静止管水位(cm)	動圧管水位(cm)	
2004/11/12 14:00	69.3	76.8	
2004/11/12 14:30	68.7	76.8	
2004/11/12 15:04	69.3	75.0	
2004/11/12 15:38	68.9	75.8	注)
2004/11/12 16:09	69.2	76.2	水位は0.1cm単位で記載する。
2004/11/12 16:30	68.8	76.2	計測中ビデオ(DVD)で水位を撮影する。
2004/11/12 17:00	69.0	75.6	時刻は濁度計の時刻を記入する。
			-

実験実施日: 2004/11/15 mg 2004/11/15 mg ポンプ始動日時: 2004/11/15 9:47 mg ポンプ停止日時: 2004/11/15 16:51

実験case: 2-1

水路勾配(目標): 1 / 50 土砂供給時間(1回目): 9:59 【 1 袋】

濁度計計測ファイル名: 平成17年02月17日 case2-1.xls - 供給時間(-回目): 【

サンプラー上流側水深:18.0 (cm)サンプラー採取開始日時:2004/11/15 13:47サンプラー下流側水深:13.0 (cm)サンプラー採取終了日時:2004/11/15 16:47

### ピトー管 計測水深

計測	<u> 日時</u>	静止管水位(cm)	動圧管水位(cm)	
2004/11	/15 13:48	69.6	75.3	
2004/11	/15 14:15	69.5	74.4	
2004/11	/15 14:46	69.0	75.3	
2004/11	/15 15:11	69.3	75.0	注)
2004/11	/15 15:51	69.5	74.9	水位は0.1cm単位で記載する。
2004/11	/15 16:18	69.0	74.8	計測中ビデオ(DVD)で水位を撮影する。
	-	-	-	時刻は濁度計の時刻を記入する。

実験実施日: 2004/11/16 ポンプ始動日時: 2004/11/16 9:06 原槇 ポンプ停止日時: 記入者: 2004/11/16 14:59 2-2 実験case: 水路勾配(目標): 1 / 100 土砂供給時間(1回目): 9:19 1/2 袋】 水路勾配(実測): 9.8 / 1000 【トータルステーションによる計測】 - 供給時間( - 回目): MIDDLE 濁度(目標): - 供給時間( - 回目): 濁度(実測): 7989.1 ~ 9119.0 (ppm)【濁度計による計測】 - 供給時間( - 回目): 平成17年02月17日 case2-2.xls 濁度計計測ファイル名: - 供給時間( - 回目):

サンプラー上流側水深:20.5 (cm)サンプラー採取開始日時:2004/11/16 11:51サンプラー下流側水深:13.5 (cm)サンプラー採取終了日時:2004/11/16 14:55

### ピトー管 計測水深

計測日時	静圧管水位(cm)	動圧管水位(cm)	
2004/11/16 11:52	69.6	73.8	
2004/11/16 12:27	69.7	73.8	
2004/11/16 12:56	69.7	73.9	
2004/11/16 13:22	69.7	74.0	注)
2004/11/16 13:51	69.6	73.8	水位
2004/11/16 14:21	69.5	73.8	計測
2004/11/16 14:57	69.3	73.4	時刻

水位は0.1cm単位で記載する。

計測中ビデオ(DVD)で水位を撮影する。

実験実施日: 2004/11/17 ポンプ始動日時: 2004/11/17 9:54 原槇 記入者: ポンプ停止日時: 2004/11/17 16:46 2-3 実験case:

水路勾配(目標): 1 / 200

土砂供給時間(1回目): 10:10 1/4 袋】 【トータルステーションによる計測】 - 供給時間( - 回目): 水路勾配(実測): 3.6 / 1000 10:15 1/4 袋】

濁度(目標): MIDDLE

- 供給時間( - 回目): 13:00 1/4 袋】 8005.4 ~ 9020.9 (ppm) 【濁度計による計測】 - 供給時間( - 回目):

濁度計計測ファイル名:

平成17年02月17日 case2-3.xls - 供給時間( - 回目):

サンプラー上流側水深: 20.5 (cm) サンプラー下流側水深: 14.5 (cm)

2004/11/17 13:35 サンプラー採取開始日時: サンプラー採取終了日時: 2004/11/17 16:43

#### ピトー管 計測水深

濁度(実測):

計測日時	静圧管水位(cm)	動圧管水位(cm)
2004/11/17 13:36	69.1	73.2
2004/11/17 14:10	69.1	73.0
2004/11/17 14:38	69.0	72.8
2004/11/17 15:10	69.0	72.8
2004/11/17 15:43	68.8	72.6
2004/11/17 16:11	68.9	72.6
-	-	-

注)

水位は0.1cm単位で記載する。

計測中ビデオ(DVD)で水位を撮影する。

実験実施日: 2004/11/18 2004/11/18 3:00 ポンプ始動日時: 2004/11/18 9:00 ポンプ停止日時: 2004/11/18 14:30

実験case: 1-1

水路勾配(目標): 1 / 50 土砂供給時間(1回目): 9:05 【 5/4 袋】

水路勾配(実測): 1 / 52.5 【トータルステーションによる計測】水供給時間(1回目): 9:05~9:23 【 満水】

濁度(目標): 土砂供給時間(2回目): 10:47 【 1/4 袋】

濁度(実測): 14851.0 ~ 17084.9 (ppm) 【濁度計による計測】 水供給時間(2回目): 10:28 ~ 10:35 【オーバーフロー】 濁度計計測ファイル名: 平成17年02月17日 case1-1.xls - 供給時間(-回目): 【 】

### ピトー管 計測水深

計測日時	静止管水位(cm)	動圧管水位(cm)	
2004/11/18 11:25	67.8	76.0	
2004/11/18 12:04	68.5	76.0	
2004/11/18 12:26	68.5	76.0	
2004/11/18 12:56	68.7	76.2	注)
2004/11/18 13:33	68.4	76.1	水位は0.1cm単位で記載する。
2004/11/18 13:40	68.0	76.1	計測中ビデオ(DVD)で水位を撮影する。
2004/11/18 14:25	67.7	76.2	時刻は濁度計の時刻を記入する。
			-

2004/11/19 7:40

# 浮遊砂サンプラー機能検証実験 実験野帳

2004/11/19

ポンプ始動日時:

記入者: 原槇 ポンプ停止日時: 2004/11/19 11:52 1-2 実験case: 水路勾配(目標): 1 / 100 土砂供給時間(1回目): 7:51 1/4 袋】 【トータルステーションによる計測】水供給時間(1回目): 水路勾配(実測): 9.8 / 1000 7:58 1/2 袋】

サンプラー上流側水深:20.0 (cm)サンプラー採取開始日時:2004/11/19 8:46サンプラー下流側水深:14.0 (cm)サンプラー採取終了日時:2004/11/19 11:46

### ピトー管 計測水深

実験実施日:

計測日時	静圧管水位(cm)	動圧管水位(cm)	
2004/11/19 8:47	68.9	73.5	
2004/11/19 9:15	69.0	72.0	
2004/11/19 9:45	69.0	71.3	
2004/11/19 10:14	69.0	71.2	注)
2004/11/19 11:46	69.0	71.2	水位は0.1cm単位で記載する。
2004/11/19 11:23	69.0	71.2	計測中ビデオ(DVD)で水位を撮影する。
2004/11/19 11:42	69.1	71.2	時刻は濁度計の時刻を記入する。

2004/11/19 14:37

# 浮遊砂サンプラー機能検証実験 実験野帳

ポンプ始動日時:

記入者: 福嶋·原槇 ポンプ停止日時: 2004/11/19 19:27 1-3 実験case: 水路勾配(目標): 1 / 200 土砂供給時間(1回目): 14:54 1/2 袋】 【トータルステーションによる計測】水供給時間(1回目): 水路勾配(実測): 3.6 / 1000 15:56 1/4 袋】

サンプラー上流側水深:21.0 (cm)サンプラー採取開始日時:2004/11/19 16:20サンプラー下流側水深:14.5. (cm)サンプラー採取終了日時:2004/11/19 19:20

### ピトー管 計測水深

実験実施日:

2004/11/19

計測日時	静圧管水位(cm)	動圧管水位(cm)	
2004/11/19 16:21	68.4	73.3	
2004/11/19 16:54	68.4	73.3	
2004/11/19 17:20	68.2	73.3	
2004/11/19 18:00	68.2	73.2	注)
2004/11/19 18:20	68.2	73.2	水位は0.1cm単位で記載する。
2004/11/19 18:50	68.3	73.2	計測中ビデオ(DVD)で水位を撮影する。
2004/11/19 19:16	68.3	73.2	時刻は濁度計の時刻を記入する。

実験実施日: 2004/11/23 ポンプ始動日時: 2004/11/23 14:27 原槇 ポンプ停止日時: 記入者: 2004/11/23 16:24 4-1 実験case: 水路勾配(目標): 1 / 50 土砂供給時間(1回目): 14:28 1/2 袋】 【トータルステーションによる計測】水供給時間(1回目): 満水】 水路勾配(実測): 1 / 52.5 14:30 HIGH 濁度(目標): - 供給時間( - 回目): 濁度(実測): 15996.9 ~ 17704.9 (ppm)【濁度計による計測】 - 供給時間( - 回目):

サンプラー上流側水深:18.0 (cm)サンプラー採取開始日時:2004/11/23 15:20サンプラー下流側水深:13.0 (cm)サンプラー採取終了日時:2004/11/23 16:20

### ピトー管 計測水深

	動圧管水位(cm)	静圧管水位(cm)	計測日時
	75.2	68.7	2004/11/23 15:22
]	75.5	68.5	2004/11/23 15:42
	75.5	68.7	2004/11/23 16:00
注)	75.7	68.7	2004/11/23 16:20
水位は0.			
- 計測中ビ			
時刻は濁			
4	1		

水位は0.1cm単位で記載する。

計測中ビデオ(DVD)で水位を撮影する。

NO. 11

# 浮遊砂サンプラー機能検証実験 実験野帳

実験実施日: 2004/11/24 ポンプ始動日時: 2004/11/24 14:37 福嶋·原槇 記入者: ポンプ停止日時: 2004/11/25 19:40 実験case: 4-2 水路勾配(目標): 1 / 50 土砂供給時間(1回目): 10:04 3/4 袋】 【トータルステーションによる計測】 - 供給時間( - 回目): 満水】 水路勾配(実測): 1 / 52.5 10:04 HIGH 濁度(目標): - 供給時間( - 回目):

13171.4 ~ 16605.8 (ppm)【濁度計による計測】 濁度(実測): - 供給時間( - 回目): 平成17年02月17日 case4-2.xls 濁度計計測ファイル名: - 供給時間( - 回目):

サンプラー上流側水深: 18.0 サンプラー採取開始日時: 2004/11/24 13:30 (cm) サンプラー下流側水深: 13.0 サンプラー採取終了日時: 2004/11/24 19:32 (cm)

#### ピトー管 計測水深

静圧管水位(cm)	動圧管水位(cm)
68.9	75.6
69.0	75.6
69.2	75.6
	75.6
	75.7
	76.7
68.7	76.7
68.2	75.7
68.8	75.7
67.8	75.6
67.7	75.5
68.0	75.6
67.5	75.0
	68.9 69.0 69.2 68.8 68.9 68.5 68.7 68.2 68.8 67.8 67.7 68.0

注) 水位は0.1cm単位で記載する。 計測中ビデオ(DVD)で水位を撮影する。 時刻は濁度計の時刻を記入する。



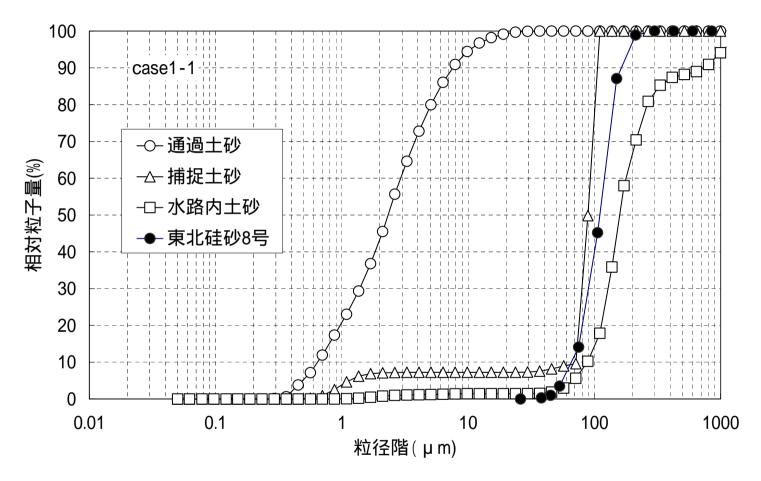


図-2.1 土砂の粒度分布(case1-1)

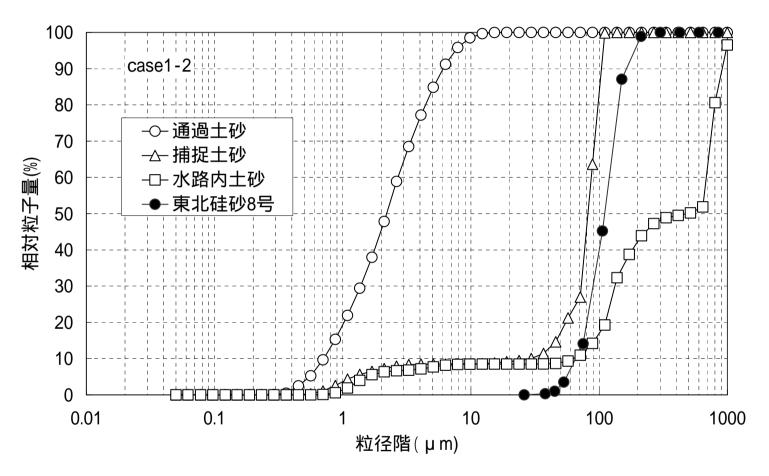


図-2.2 土砂の粒度分布(case1-2)

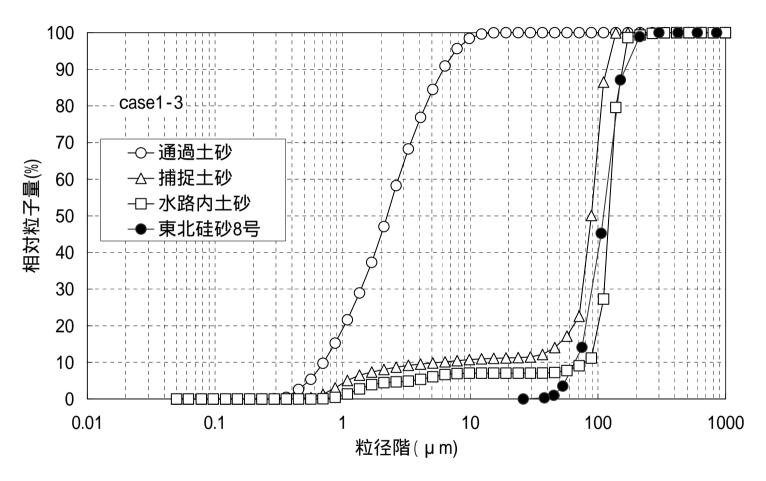


図-2.3 土砂の粒度分布(case1-3)

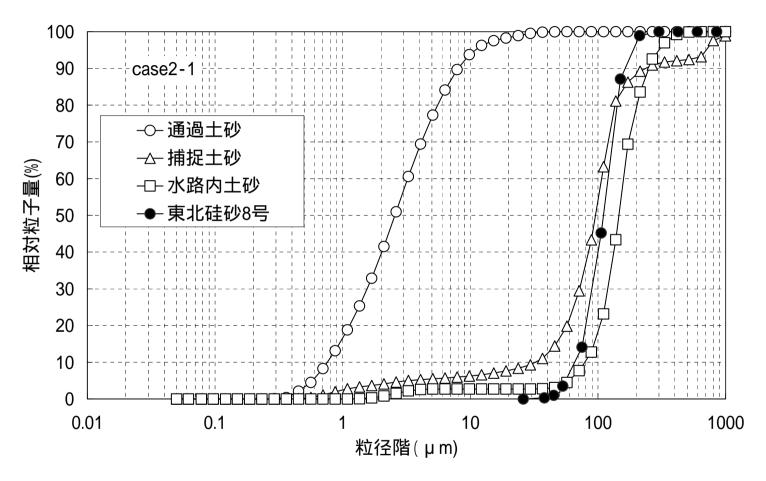


図-2.4 土砂の粒度分布(case2-1)

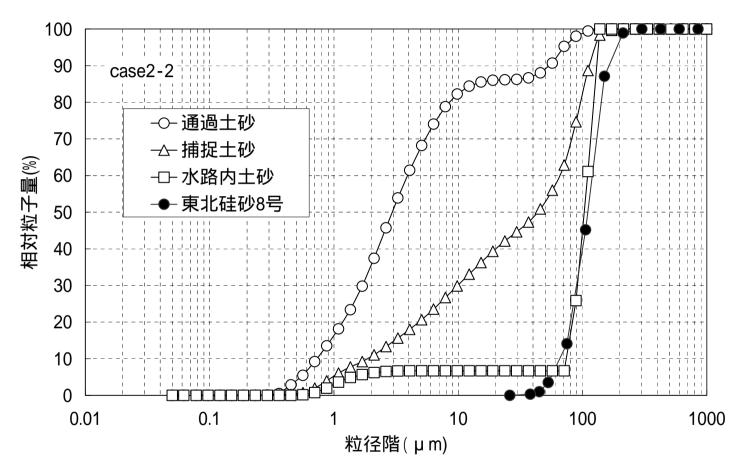


図-2.5 土砂の粒度分布(case2-2)

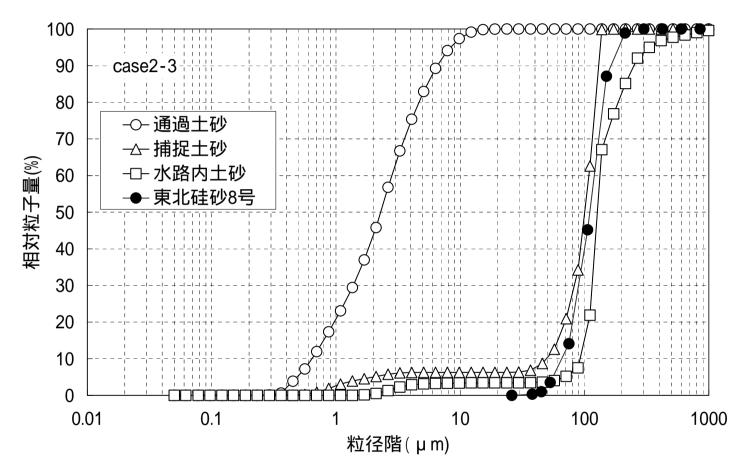


図-2.6 土砂の粒度分布(case2-3)

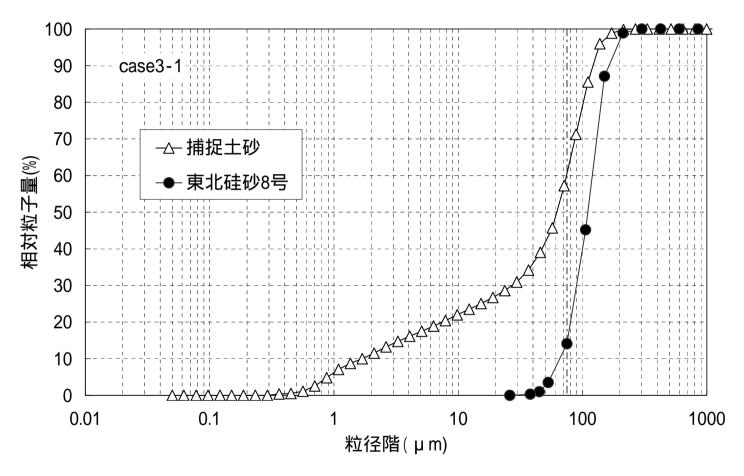


図-2.7 土砂の粒度分布(case3-1)

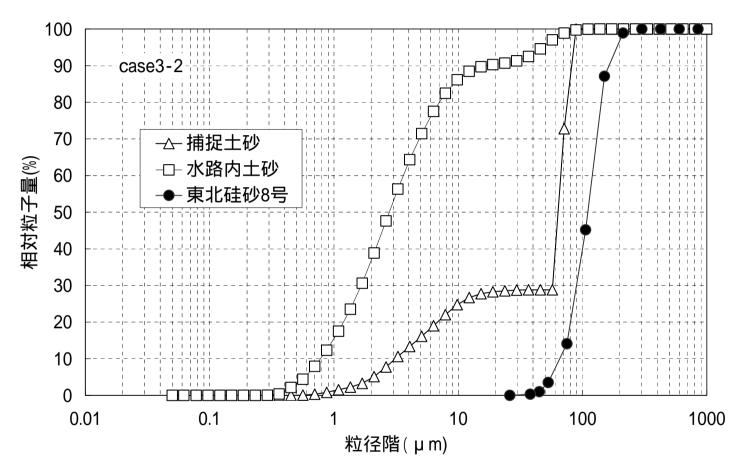


図-2.8 土砂の粒度分布(case3-2)

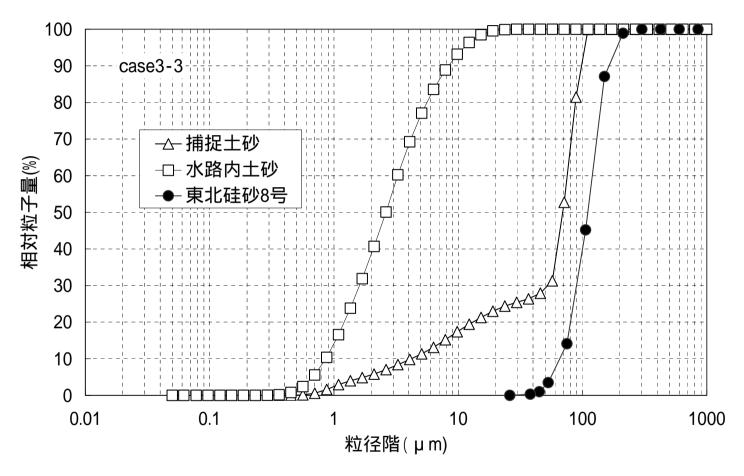


図-2.9 土砂の粒度分布(case3-3)

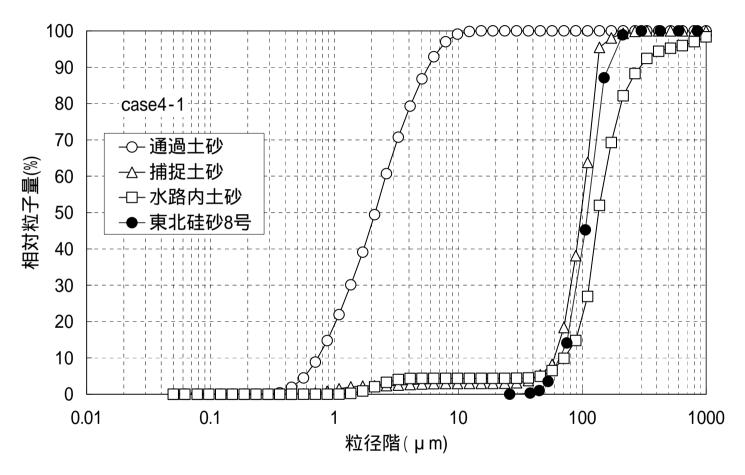


図-2.10 土砂の粒度分布(case4-1)

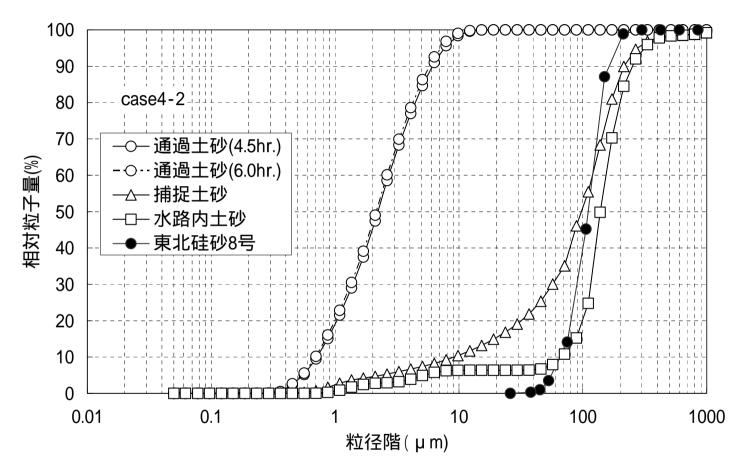


図-2.11 土砂の粒度分布(case4-2)



### キャリブレーション実施方法

キャリブレーションに使用した水と土砂の量を表-3.1に示す。

実験で使用した水は水道水、土砂は水路実験で使用した東北硅砂8号を使用した。

あらかじめ計測した水と土砂を 1L ビーカーに入れ、マグネチックスターラー(写真-3.1)で攪拌しながら、ビーカー内の土砂濃度を濁度計で 3 分間計測した。

キャリブレーションから得られた電圧と土砂濃度の関係を図-3.1~3.3に示す。

表-3.1 東北硅砂 8 号キャリブレーション一覧表

No.	水量	土砂重量	土砂容量	土砂濁度	土砂重量濃度	土砂濃度	土砂容積濃度	電圧	備考
-	V1(cm3)	t (g)	(cm3)	(ppm)	gf/cm3	(%)	(%)	(V)	-
1	1000	5.00	1.852	1,848	0.0050	0.185	0.002	0.565	
2	1000	10.00	3.704	3,690	0.0100	0.369	0.004	0.721	
3	1000	20.00	7.407	7,353	0.0200	0.735	0.007	1.465	
4	1000	40.00	14.815	14,599	0.0400	1.460	0.015	3.498	
5	1000	45.00	16.667	16,393	0.0450	1.639	0.017	4.535	



写真-3.1 キャリブレーション実施状況写真

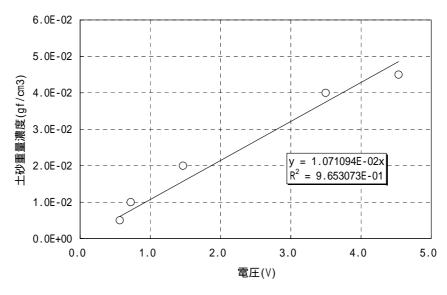


図-3.1 電圧(V) - 土砂重量濃度(gf/cm³)の関係図

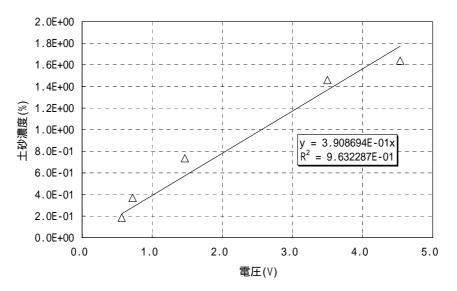


図-3.2 電圧(∀) - 土砂濃度(%)の関係図

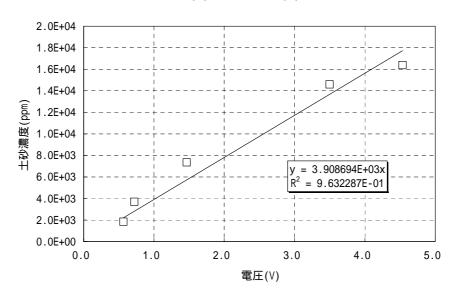


図-3.3 電圧 - 土砂濃度(ppm)の関係図

以上より、

$$c = 3.908694 \times 10^{-1} x$$
 (2)

$$c_p = 3.908694 \times 10^3 x$$
 (3)

式(1)~(3)が成り立つ。

ここで、 $V_c$ : 土砂重量濃度(gf/cm³)、x:電圧(V)、c: 土砂濃度(%)、 $c_p$ : 土砂濃度(ppm)である。



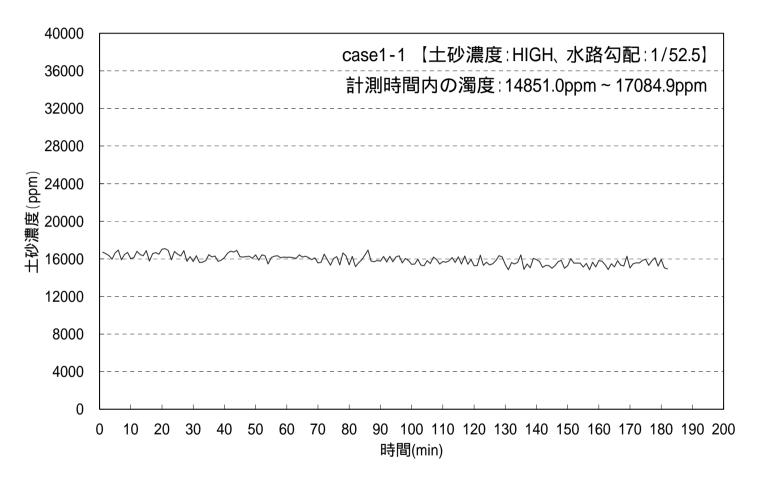


図-4.1 計測時間内土砂濃度(case1-1)

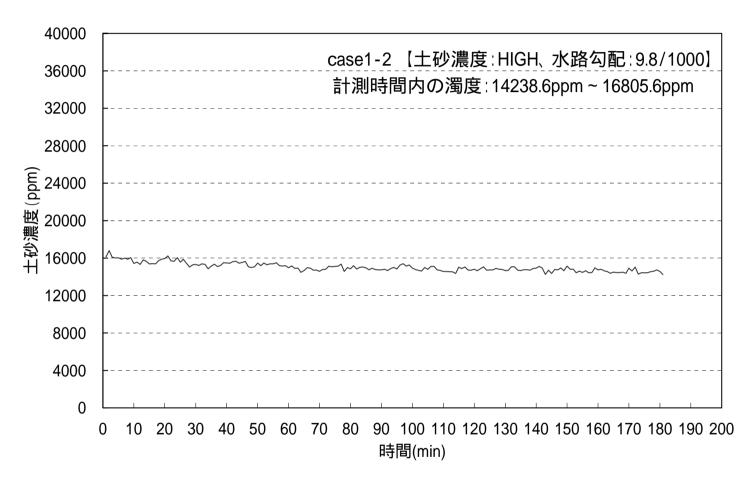


図-4.2 計測時間内土砂濃度(case1-2)

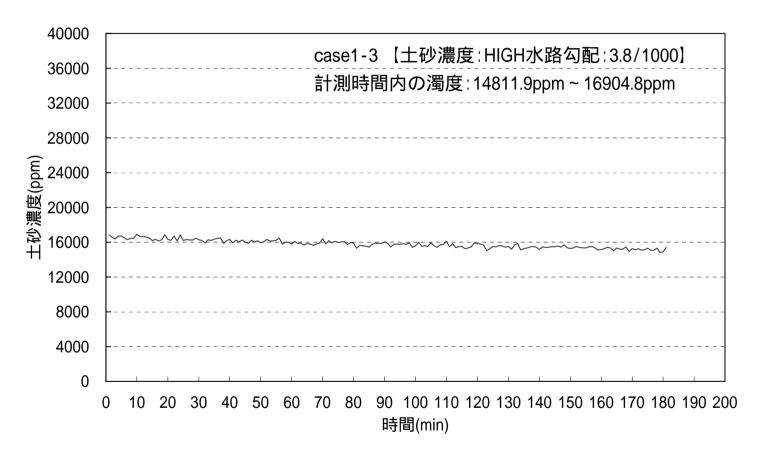


図-4.3 計測時間内土砂濃度(case1-3)

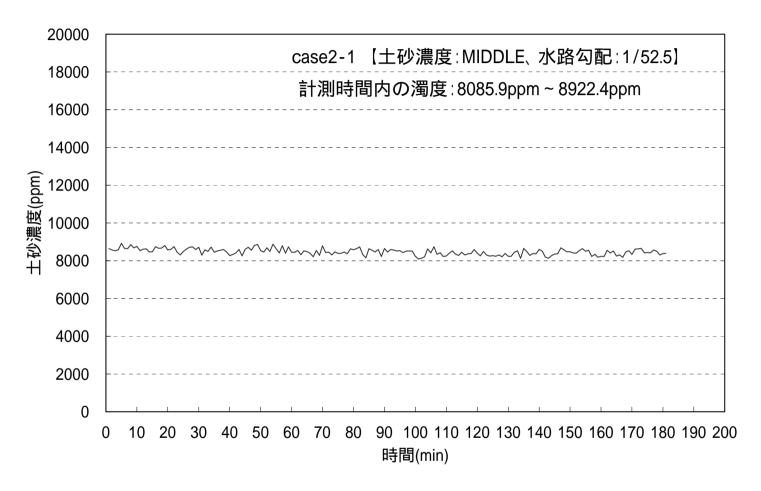


図-4.4 計測時間内土砂濃度(case2-1)

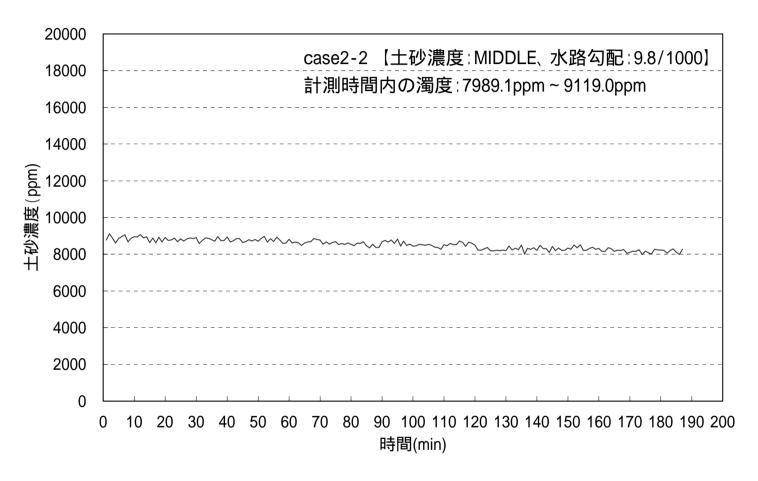


図-4.5 計測時間内土砂濃度(case2-2)

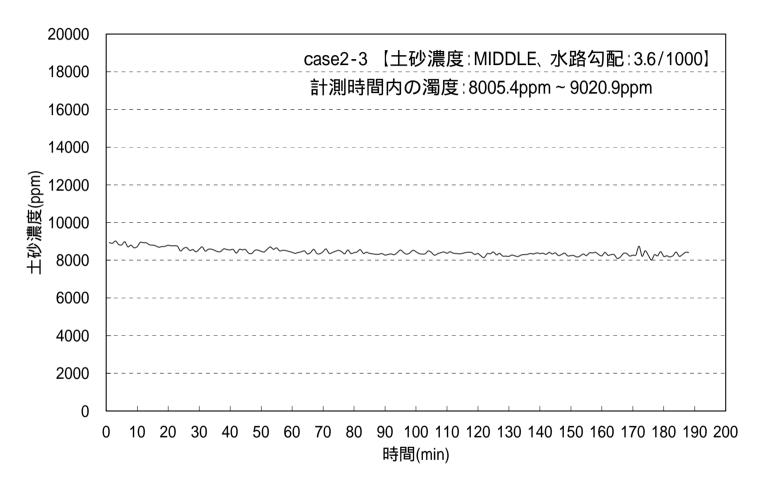


図-4.6 計測時間内土砂濃度(case2-3)

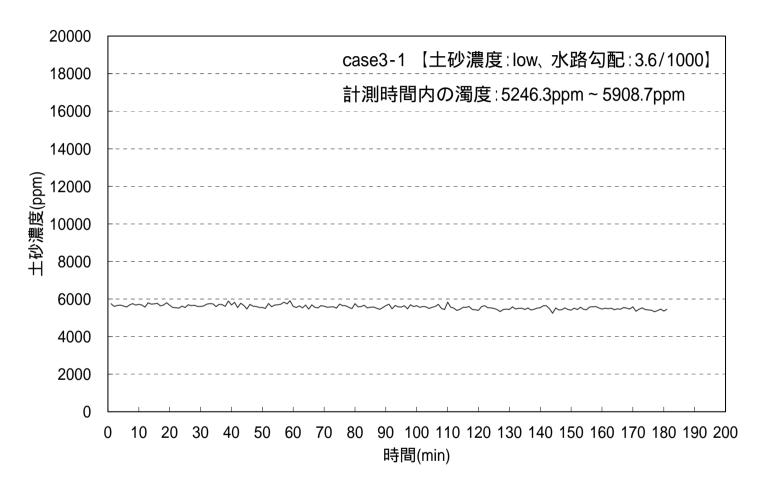


図-4.7 計測時間内土砂濃度(case3-1)

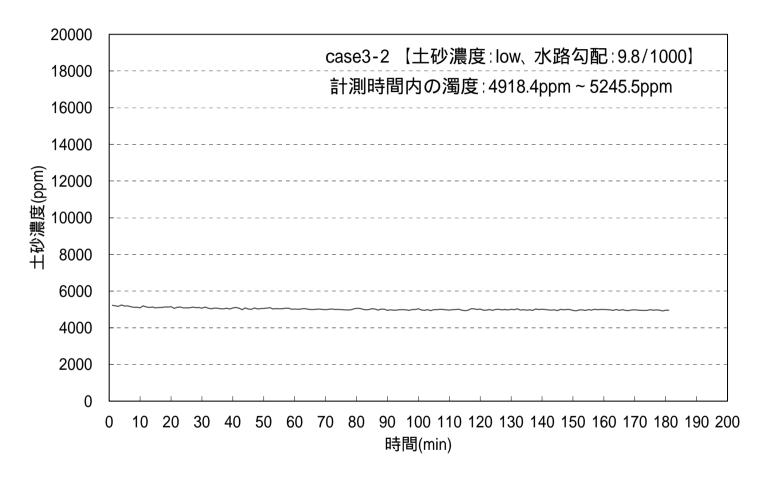


図-4.8 計測時間内土砂濃度(case3-2)

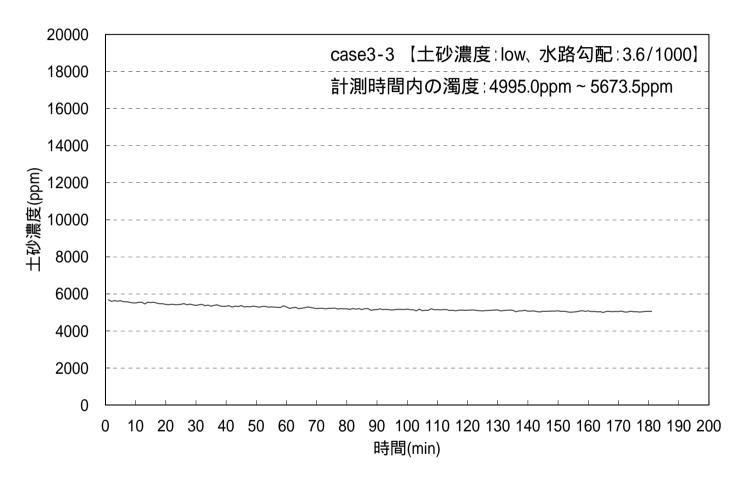


図-4.9 計測時間内土砂濃度(case3-3)

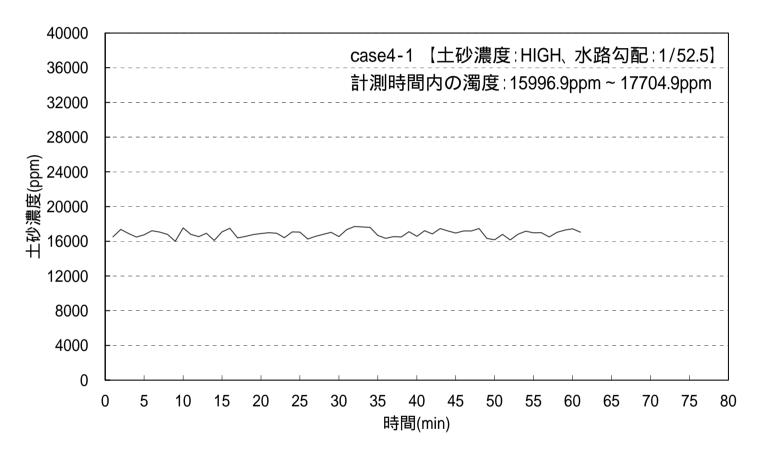


図-4.10 計測時間内土砂濃度(case4-1)

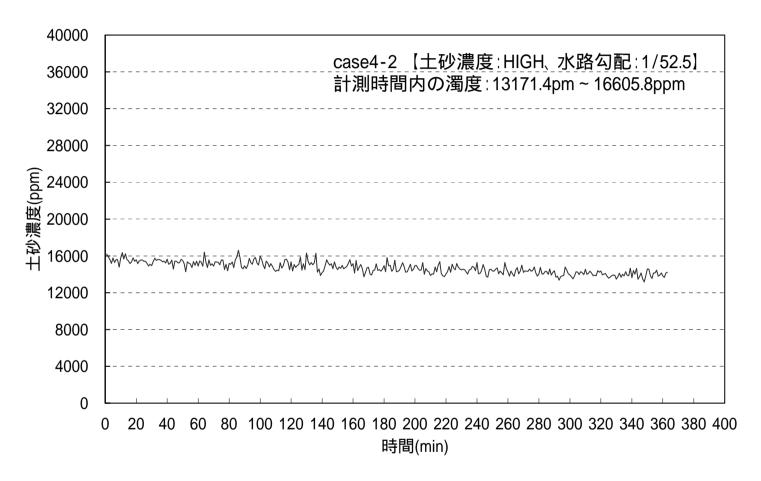


図-4.11 計測時間内土砂濃度(case4-2)

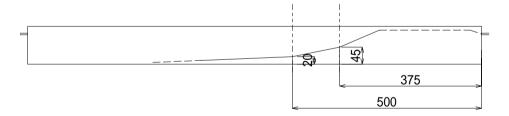


## case1-1 Time-itegrated samplar土砂捕捉状況 (i=1/10)

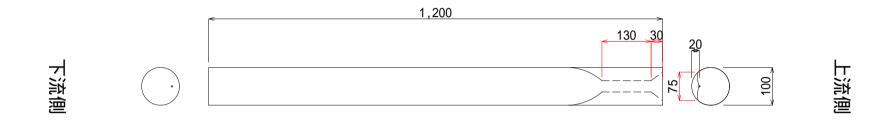
## 平面図

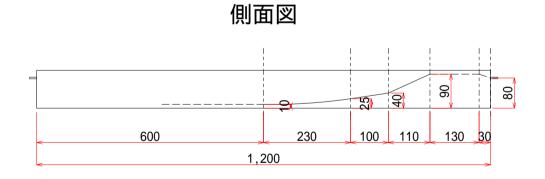
下流側

## 側面図

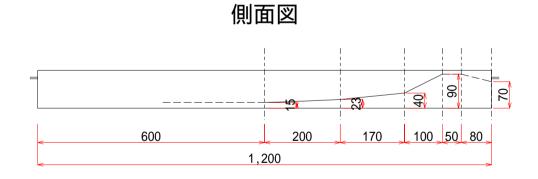


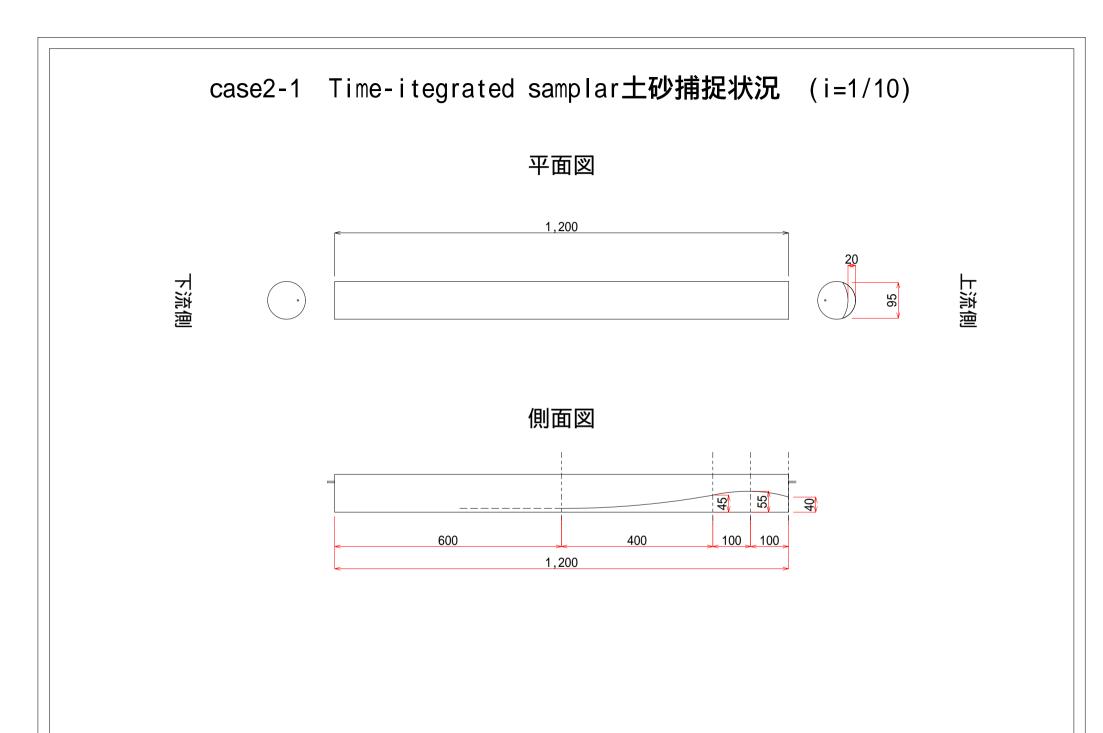
## case1-2 Time-itegrated samplar**土砂捕捉状況** (i=1/10) 平面図

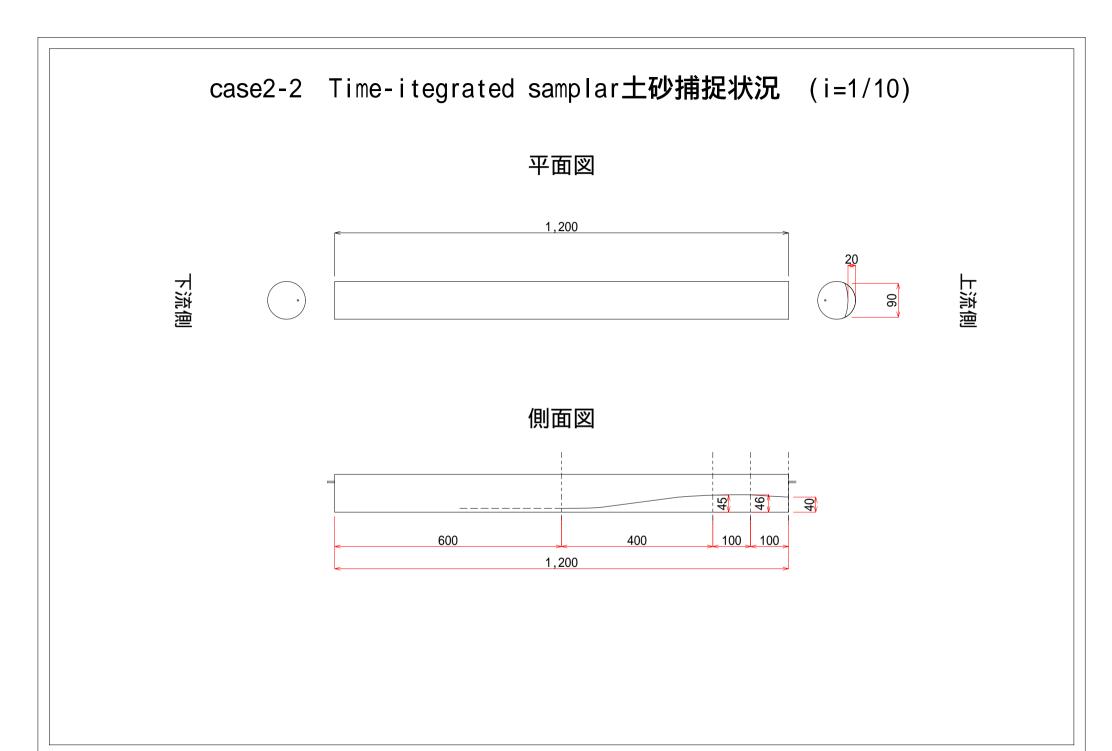


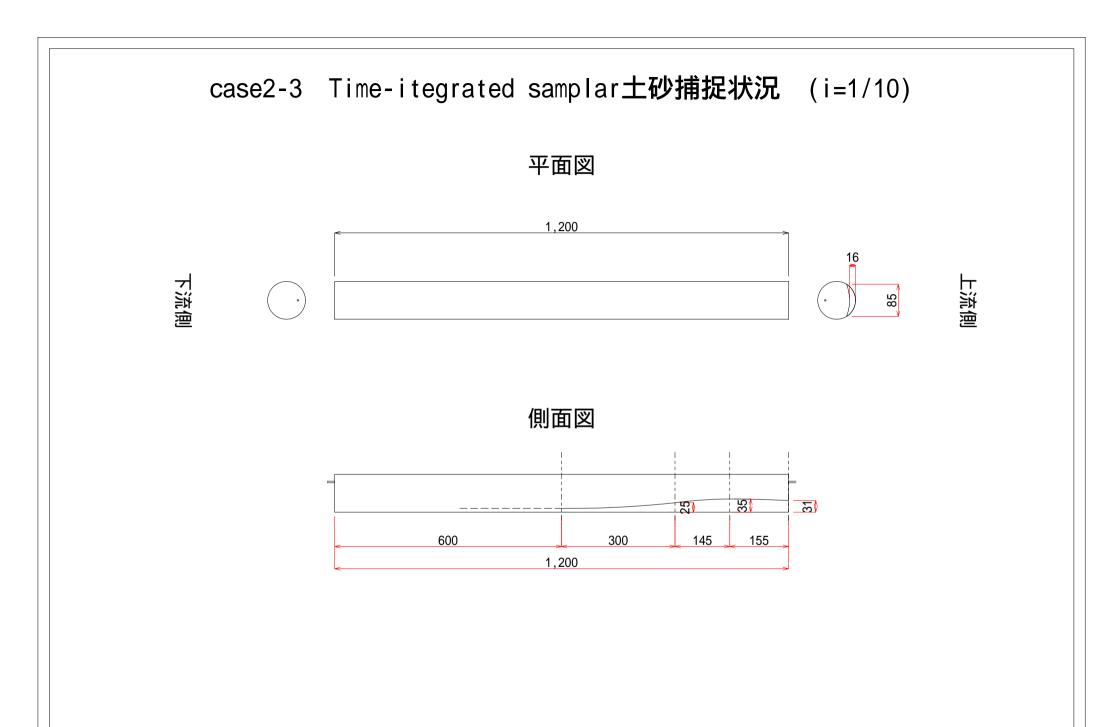


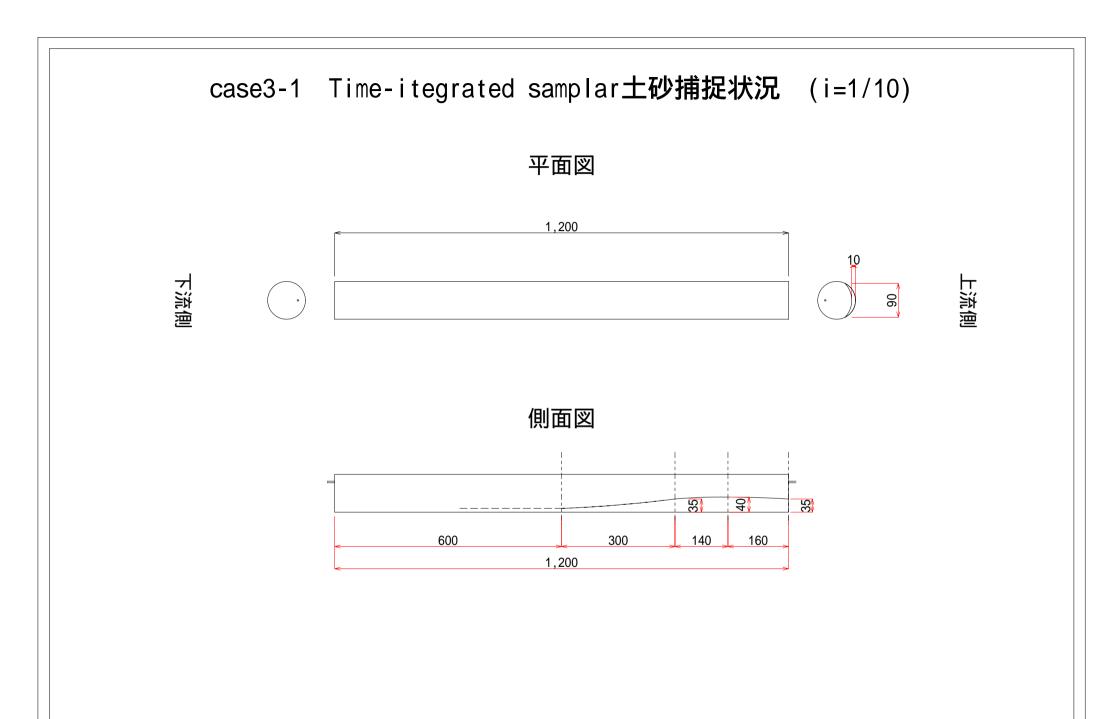
# case1-3 Time-itegrated samplar土砂捕捉状況 (i=1/10) 平面図

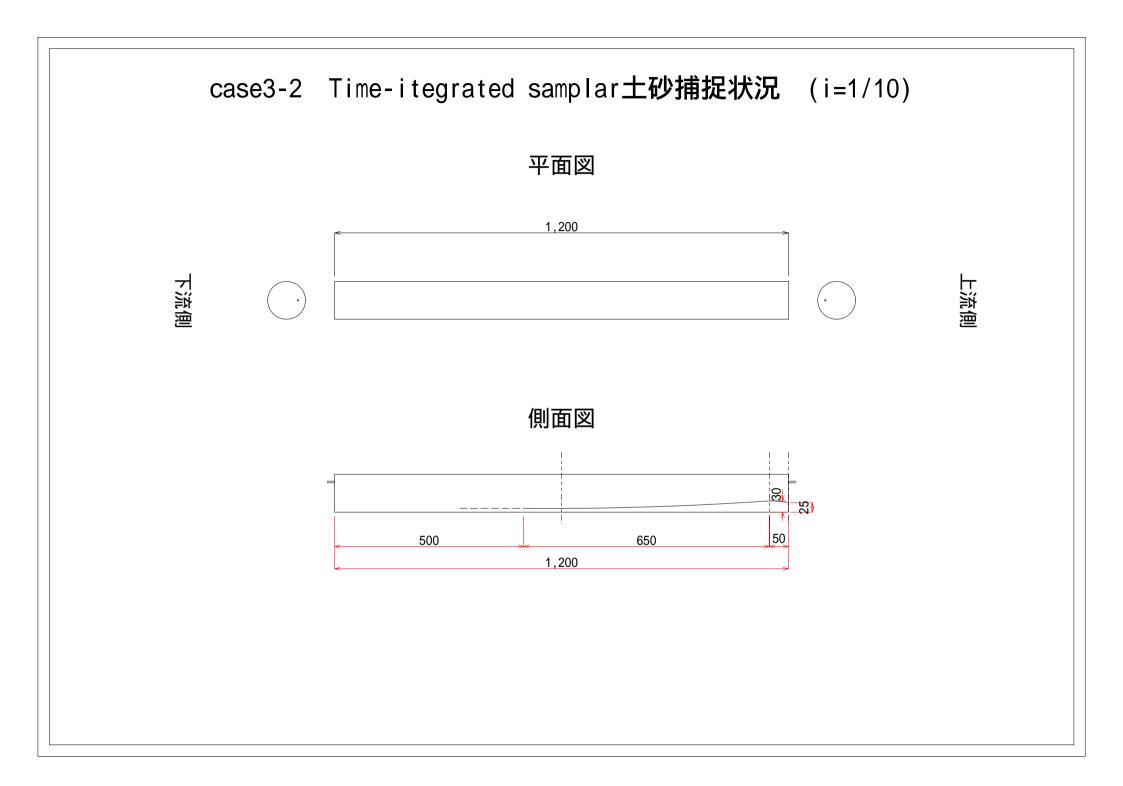












# case4-1 Time-itegrated samplar土砂捕捉状況 (i=1/10) 平面図 1,200 側面図 20 35 47 100 100 100 100 95 95 10 600 1,200

## case4-2 Time-itegrated samplar土砂捕捉状況 (i=1/10)

### 平面図

1,200



